

I : 2022年3月期 中間決算概要

II : 2022年3月期 決算予想・中期経営計画

III : ESG・SDGsへの取り組み、基本理念

OKBグループは、ESGに関する課題解決を通じて、地域の持続可能な成長に積極的に貢献してまいります。

Environment (環境)



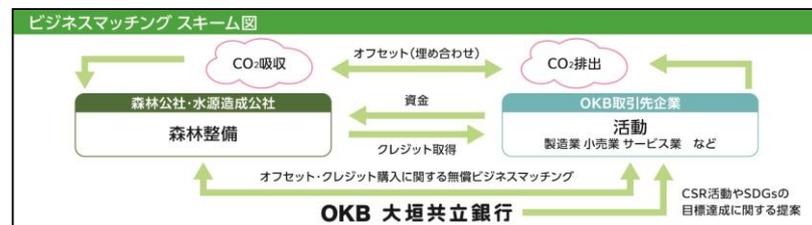
OKB森林共和国での森林保全活動



2015年5月に岐阜県および揖斐川町と「『OKB森林共和国』における恵みの森林づくり協定」を締結し、「OKB森林共和国」を建国。森林再生に向け植樹活動などを行うとともに、林業現場への理解を深めるべくVR(仮想現実)技術を活用した伐木体験を実施。

カーボン・オフセット推進をサポート

2021年8月から、公益社団法人 岐阜県森林公社および公益社団法人 木曾三川水源造成公社との無償ビジネスマッチングに基づき、森林保全への貢献を目的とする「オフセット・クレジット」を取引先企業に紹介しています。



CO₂排出量の削減に貢献

株式会社 ネクシーズとのLED照明などの省エネ関連機器導入に関するビジネスマッチング契約に基づき、取引先の省エネ化に貢献。10月末時点での電力削減量は取引先全体で2,223MWh (CO₂排出量換算で1,016t相当の削減)となっています。

■ ビジネスマッチング実績 (2021年10月末時点)

区分	実績
成約社数	169社
成約件数	222件



件数内訳	実績
LED照明	142件
新型コロナ関連設備	60件
業務用空調	14件
厨房機器	4件
その他	2件

地域の焼却ごみの減量化 / CO₂削減に貢献

2015年9月、地元企業が岐阜県大垣市南部で運営する農場の命名権を取得し、「OKB農場」を開場。同農場では地域の6次産業化の拠点を目指し、農作物の生産・加工・販売に取り組むとともに、大垣市からの委託を受け、従来、焼却処理されていた堤防の刈草などをたい肥化し、同農場に受け入れることで、地域の焼却ごみの減量化・CO₂の削減に貢献しています。

OKBグループは、ESGに関する課題解決を通じて、地域の持続可能な成長に積極的に貢献してまいります。

Social (社会)



被災地の復興を応援

手のひら認証の登録者に応じてOKBが寄付を行う「OKB『15歳から君にできること』キャンペーン」を実施しました。キャンペーンでは、登録者数に応じた寄付金1,704,000円に創立125周年を迎えたOKBからの寄付金1,250,000円を加え、総額2,954,000円を公益社団法人ハチ基金に寄付しました。



OKB「15歳から君にできること」キャンペーン
君の手のひらが被災地の希望に

「災害に強い地域づくり」への貢献

株式会社NTTドコモ東海支社と「災害時の連携に関する協定」を締結。災害時に使用する携帯電話用充電器をOKB店舗に配備しました。また、災害時はOKBの移動店舗などによる被災地や帰宅困難者へのサポートを行うとともに、OKBの店舗敷地をNTTドコモの災害復旧活動拠点として活用します。



マルチチャージャ▲

フードバンク活動の推進

企業や個人から譲り受けた余剰食品を施設や家庭に無償提供する活動を行う“フードバンクぎふ”と「フードバンク活動に関する連携協定」を締結。第一弾の取り組みとして、OKBの3拠点(OKB そうだん広場 荒尾、藤江・笠松支店)に余剰食品収集場所を設置しました。また、OKBグループ役員から募った食品約2,400点とフードバンクぎふサポーター406名から集まった442,000円を“フードバンクぎふ”へ贈呈しました。



「健康口座」の取扱開始

全国初

少子高齢化や医療費の高騰などにより医療費負担のあり方が社会的な問題となるなか、お客さまの健康・医療に関する悩みを解消するサービスが付帯された「健康口座」の取り扱いを開始しました。また、大垣西濃信用金庫および医療系ベンチャーの日本メディカルビジネス株式会社と「健康口座」の普及に向けた連携協定を締結。岐阜県大垣市を「健康口座」のスタート地と定め、商工会議所とも連携しながら、市民や医療機関へ「健康口座」を普及・推進しています。

外部機関からの評価

厚生労働大臣表彰を受賞

OKBは“地域社会への貢献”を目的に1996年「社会貢献推進委員会」を発足し、2016年から名称を「OKB社会貢献クラブ」として地域と連携を図りながら社会貢献活動を推進しています。今般、OKB社会貢献クラブが主体となって取り組んできた献血推進活動に対して「厚生労働大臣表彰」を受賞しました。

企業フィランソピー大賞（特別賞）を受賞

第18回 企業フィランソピー大賞において、「企業フィランソピー賞“安心を届ける手のひら賞”」を受賞しました。手のひらだけで銀行取引ができるOKBの「手のひらソリューション」など“お客さま目線”“地域とともに”を具現化する取り組みが評価されました。

OKBグループは、ESGに関する課題解決を通じて、地域の持続可能な成長に積極的に貢献してまいります。

Social (社会)

新型コロナウイルス感染症対策 — お客さまへのサポート

資金繰りなどに関する「相談窓口」の設置

新型コロナウイルスの感染拡大により影響を受けた企業や個人事業主のお客さまからの「資金繰り」などの各種ご相談にお応えするため、対応窓口を設置しました。

「緊急対策融資」「緊急対策ローン」の取り扱い

新型コロナウイルスの感染拡大による資金面での不安を解消いただくため、企業・個人事業主・個人のお客さまを対象に「緊急対策融資」「緊急対策ローン」を取り扱っています。

「OKB地域産品応援運動」の実施



地域の事業者の皆さまを応援するため「コロナに負けない地域を創ろう！OKB地域産品応援運動」を実施しています。地域の事業者の皆さまが手がける“優れた一品”“自慢の一品”をOKBのオリジナルPRツールで広く紹介しています。

コロナ関連融資の状況

	全体		実質無利息・無担保	
	件数 (件)	金額 (億円)	件数 (件)	金額 (億円)
2020年9月末	6,099	2,246	4,568	873
2021年3月末	8,872	2,968	6,916	1,351
2021年9月末	10,167	3,407	7,882	1,600

資金繰り支援を中心にお客さまをサポートし、2021年9月末時点において、全体で10,167件、3,407億円のコロナ関連融資を実行しました。資金繰りはもとより、何でも相談できる「まちのかかりつけ金融機関」として、一人ひとりのお客さまに対し、One to Oneの付加価値をタイムリーかつ適切に提供していきます。

新型コロナウイルス感染症対策 — 感染拡大防止に向けた取り組み

飛沫感染防止アクリル板の設置

お客さま・従業員の飛沫感染リスクを低減するため、店舗窓口にアクリル板を設置しています。



A T Mコーナーなどの清掃

接触感染によるお客さまの感染リスクを低減するため、A T Mコーナーなどを定期的に清掃しています。

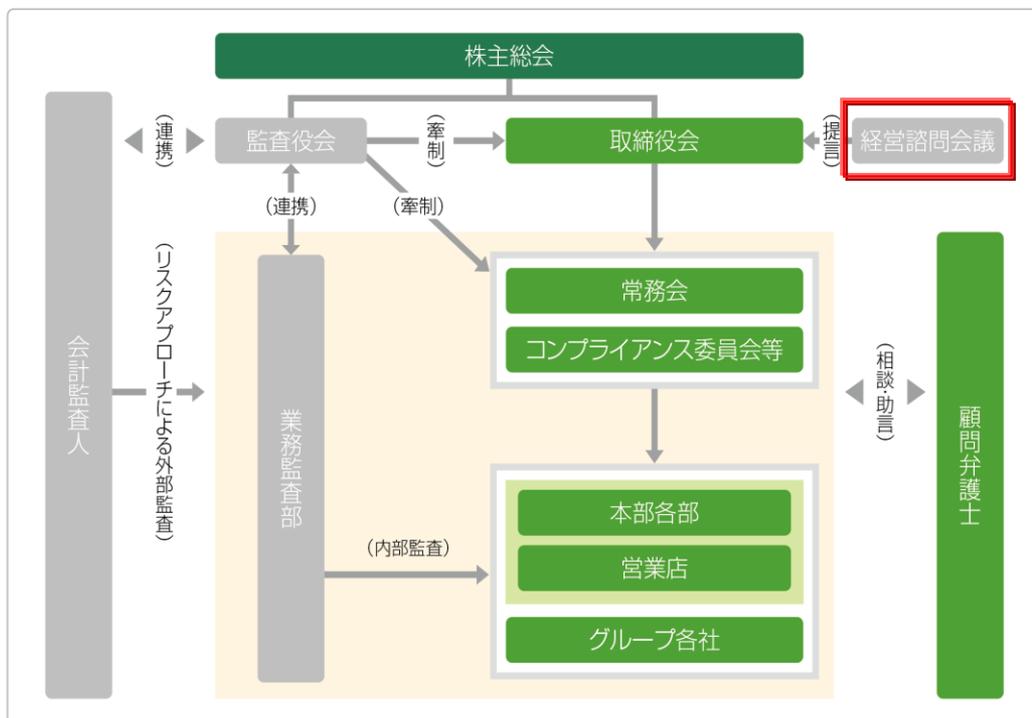


OKBグループは、ESGに関する課題解決を通じて、地域の持続可能な成長に積極的に貢献してまいります。

Governance（ガバナンス）



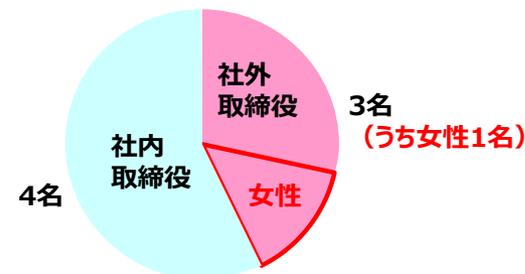
経営諮問会議の設置



取締役会の任意の諮問機関である経営諮問会議を設置しています。経営諮問会議は社内取締役、社外取締役、社外監査役で構成され、取締役の指名・報酬などについて提言を行っています。

透明性・客観性の向上

2020年より女性社外取締役1名を選任し、従来とは全く異なる新しい視点から、経営全般に対して適切な提言や助言をいただけるようになりました。



社外取締役比率 **約43%** (2021年6月1日現在)

委任型執行役員制度 (統括執行役員)の導入

経営の意思決定・監督と業務遂行を分離し、取締役会の機能強化ならびに業務運営の迅速化を図るため、委任型執行役員制度を導入しました。取締役会からの委嘱を受けてOKBグループの主要部門を統括し、業務執行の陣頭指揮をとっています。

基本理念

地域に愛され 親しまれ 信頼されるOKB

金融業からサービス業への挑戦!
「すべてはお客さまの目線から」
徹底した顧客満足度の追求

全国初の新商品・サービス

独自性へのこだわり

地域とともに

脱・銀行

ATM革命
革新的な店舗づくり

フィンテックへの挑戦

OKBブランドの確立

地域における存在感の極大化

【本資料に関するご照会先】

OKB大垣共立銀行 広報部 横畠

TEL : 0584-74-2248

FAX : 0584-74-2512

E-mail : kouhou@okb.co.jp

URL : <https://www.okb.co.jp>

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化などによるリスクや不確実性を内包するものであることにご留意ください。